

みんぱく 企画展

2019年

6月6日(木)~9月10日(火)

場所:国立民族学博物館 本館企画展示場 開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日:水曜日 観覧料:一般580円、大学生250円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

主催:国立民族学博物館 共催:片倉もとこ記念沙漠文化財団、横浜コーリアス文化館

協力:人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「現代中東地域研究」(国立民族学博物館拠点・秋田大学拠点)、

国立民族学博物館「フォーラム型情報ミュージアム」プロジェクト、国立民族学博物館「新学術領域研究(研究領域提案型)」

『学術研究支援基盤形成』研究基盤リソース支援プログラム 地域研究に関する地域研究画像デジタルライブラリ(DIPLAS)

特別協力:サウジアラビア遺産観光庁、ワーディ・ファータイマ社会開発センター、キング・ファイサル・センター、

アナス・ムハンマド・メレー(ムスリム世界連盟日本代表理事)

後援:サウジアラビアマッカ州、サウジアラビア労働社会発展省 特別協賛:アラムコ・アジア・ジャパン(株)

 国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

「みられる私」より「みる私」

サウジアラビア、 オアシスに生きる 女性たちの50年



Exploring 50 Years of Livelihood and
Landscape Change in Wadi Fatima, Saudi Arabia

Ethnographic Collections of Motoo Karakura, a Japanese Female Cultural Anthropologist

「企画展」

サウジアラビア、 オアシスに生きる 女性たちの50年

「みられる私」より「みる私」

1960年代末、急激な社会変化をむかえるサウジアラビア西部のオアシスで、文化人類学者の片倉もとは、当時ほとんど不可能と思われた長期調査をおこないました。そして「みられる私」ではなく「みる私」としてのサウジ女性の姿に気づきました。本展示では、片倉が現地で撮影した貴重な写真を手がかりに、半世紀後に実施した最新の追跡調査の成果を交えながら、飾面や民族衣装など個性的で色鮮やかな物質文化をとおして、サウジ女性の生活世界の変遷をたどります。



片倉もとこ(1937～2013年)

国立民族学博物館・総合研究大学院大学名誉教授。
中東をめぐる文化人類学的・人文地理学的研究を切り拓いた日本の先駆者。
主著に国際的に高い評価を受けた *Bedouin Village* (1977年)のほか、『アラビア・ノート』(1979年)など。



スマダ(未婚女性の外出着)をまとう女性



井戸へ水くみに向かう女性(上)と、50年後に同じ場所で撮影された景観(下)

【関連イベント】

みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう

場所:本館ナビひろば [申込不要/要展示観覧券]

6/9(日) 14:30～15:30 西尾哲夫(本館教授)、縄田浩志(本館特別客員教授/秋田大学教授)

7/14(日) 14:30～15:00 相島葉月(本館准教授) 8/11(日) 14:30～15:00 菅瀬晶子(本館准教授)

みんなくゼミナール

6/15(土) 場所:特別展示館 [申込不要/参加無料] 13:30～15:00(13:00開場) 定員:200名(参加券の配布なし)

「物質文化から見た沙漠社会ーアラビア半島オアシスの半世紀」

講師:西尾哲夫、縄田浩志、遠藤仁(現代中東地域研究・秋田大学拠点研究員)

8/17(土) 場所:本館セミナー室 [申込不要/参加無料] 13:30～15:00(13:00開場) 定員:200名*

*参加券を12:30からインフォメーション前(本館1F)にて配布します。

「文化人類学者・片倉もとこの見たサウジアラビア」

講師:菅瀬晶子、片倉邦雄(片倉もとこ記念沙漠文化財団評議員会議長、元駐UAE・駐イラク・駐エジプト大使)、

藤本悠子(片倉もとこ記念沙漠文化財団事務局主事)



左:音が鳴る銀製指輪 中:香炉 右:コホル(顔料)容器 表面:鼻の部分にコインを並べた女性用飾面ブルグア

 **国立民族学博物館**
National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel:06-6876-2151(代) Fax:06-6875-0401 <http://www.minpaku.ac.jp/>

- 開館時間…………… 10:00～17:00(入館は16:30まで) ●休館日…………… 水曜日
- 観覧料…………… 一般 580円/大学生 250円/高校生以下 無料 ※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」徒歩約15分
- バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分 *「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

※大学生・一般の方は自然文化園(中央口、西口、北口)窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
※高校生以下が自然文化園(有料区域)を通行される場合は、自然文化園(中央口、西口、北口)有人窓口で、みんなくへ行くこととお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※東口からは、自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。※自然文化園(有料区域)をご利用される場合は、同園入園料が必要です。

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

